

環境局

一般会計要求総額

11,274百万円

(対前年度 +4.3%)



<基本的な考え方>

「美しき世界の環境首都」を目指した取り組みを推進するため、平成22年度は「北九州市環境基本計画」に定める4つの考え方を柱として、環境首都づくりを推進していく。

「北九州市民環境力」を基礎として、「低炭素社会」づくり、「循環型社会」づくり、「自然共生社会」づくりを推進し、持続可能な社会の実現に向けて世界をリードしていく。

特に、昨年度策定した環境モデル都市行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」に基づき、他の政策と連携を図りながら低炭素社会づくりを積極的に推進する。

「北九州市民環境力」の強化	低炭素社会総合学習システム(Super CAT)構築事業 新北九州カーボンオフセット・エコポイント統合システム 推進事業	16百万円(環境学習課) 14百万円(環境首都政策課)
「低炭素社会」づくり	新「八幡東田スマートコミュニティ構想」推進事業 (仮称)アジア低炭素化センター創設事業 新EV(電気自動車)活用環境向上のための充電ネットワーク整備事業 新低炭素化社会「見える化」推進事業	170百万円(環境首都政策課) 50百万円(環境国際協力室) 24百万円(環境首都政策課) 32百万円(環境首都政策課)
「循環型社会」づくり	古紙リサイクル推進事業 新北九州エコ・コンビナート推進事業	301百万円(環境首都政策課) 4百万円(環境産業政策室)
「自然共生社会」づくり	地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業 市民植樹・美しいまちづくり事業	14百万円(環境首都政策課) 6百万円(環境首都政策課)

未来へ向けた環境学習

低炭素社会総合学習システム(Super CAT)構築事業

市内に多数ある環境学習施設等を有機的に連携させ、すべての市民が低炭素社会づくりに必要とされる知識を総合的に学べるような環境学習システムを構築する。

16百万円(環境学習課)

北九州から世界へ発信

(仮称)アジア低炭素化センター創設事業

環境技術や社会技術のアジア地域への積極的な移転を進め、社会の仕組みの変革を図り、新しい価値観や文化を創造する“アジアの低炭素革命”の拠点を目指し、国内初となる「アジア低炭素化センター」を創設する。

50百万円(環境国際協力室)

見える！感じる！低炭素社会

新低炭素化社会「見える化」推進事業

北九州市グリーンフロンティアプランにリーディングプロジェクトとして掲げられている重点地区での低炭素社会の「見える化」を具現化するため、民間事業者が行う複合的な環境配慮型施設整備に対し支援する。

32百万円(環境首都政策課)

住みよいまちを目指して

市民環境活動の推進に向けた取り組み

里山保全などの自然環境保全活動を行う市民団体への支援や、市民植樹、エコドライブの拡大に向けた取り組みを推進することで、地域環境活動の拡大を図る。

29百万円(環境首都政策課)

主な見直し項目 工事予定の変更・工期延長等